



最終回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)



熊本への道 Go To KUMAMOTO



副実行委員長 尾野 倫章

(一般社団法人熊本県放射線技師会 常務理事 学術担当)



「肥後もっこす」と「わさもん」

「熊本への道 Go To KUMAMOTO」も最終回となりました。今回は、熊本県民の県民性について紹介させていただきます。

熊本県人の気質を表現した言葉に「肥後もっこす」という言葉があります。純粹で正義感が強く、一度決めたら^{てこ}艇子でも動かないほど頑固で妥協しない性質のことをいいます。

第39回日本診療放射線技師学術大会におきましても、「肥後もっこす」の精神で、皆さまにご満足いただける学会運営ができますよう誠心誠意準備を進めております。

また熊本県民気質を表す他の言葉に「わさもん」という言葉があります。これは新しいもの好きという意味で使われる言葉です。熊本県民は新しいものも好みます。今回、学会が開催される熊本城ホールのお隣の複合商業施設、SAKURA MACHI Kumamotoがオープンした際は、タピオカドリンクのお店が数時間待ちになったというエピソードがあり、熊本県民の「わさもん」ぶりを説明するのに十分であるかもしれません。

頑固で保守的である「肥後もっこす」と、新しいものを好む「わさもん」。一見、相反するもののようではありますが、言い換えれば、一本筋が通りつつも新しい物事にも柔軟に対応できる県民性といえます。

私は生まれも育ちも熊本ではないのですが、熊本県人のそのような筋が通りつつも柔軟で、かつ人間味に^{あふ}溢れた県民性に魅了されました。

前回までの「熊本への道 Go To KUMAMOTO」で、熊本の地域・観光・グルメ・歴史などを紹介してまいりました。それらを体験いただきつつ、肥後もっこすでわさもん気質の熊本県民と、ぜひ現地で触れ合っていたきたいと切望しております。熊本の魅力を十二分に味わっていただけたらと思います。文章だけでは熊本の多くをまだまだ伝えきれません。ぜひとも熊本の地へ足を運んでいただき、皆さまの五感で熊本を体験、満喫していただきたいと思います。

皆さまと熊本の地でお会いできることを、実行委員一同、楽しみにしております。

